

早稲田大学 法学部 英語 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	90分
特徴・その他	大問構成は昨年の7題から8題となった。READING/GRAMMAR SECTION では5択の文法問題がなくなり、図表付き中文空所補充問題とウェブページを用いた空所補充問題が加わった。WRITING SECTION では語句整序英作文がなくなり、代わりに email の書式を用いた条件英作文になった。これらの変化は明らかに昨今の大学受験界における「実用英語へのシフト」を意識したものであり、今後もこの傾向は強まっていくだろう。それに対応するために、受験生は様々な角度から英語を学習する必要性がますます高まってきた。しかし、一方でこの変化によって従来の文法学習の重要性が低くなったと考えるのは早計である。英文の正確な理解には、やはり根底にしっかりと文法の力が欠かせないのだ。大問が1つ増えているがREADING/GRAMMAR SECTION I で設問数が減少しているため、全体的な分量は昨年とほぼ変わらず。ウェブページや email の問題では、事前の準備いかんで得手不得手の差が大きく現れる可能性もあるが、全体的な難易度は昨年とほぼ同じと言っていいだろう。長文読解問題の文章は2つとも比較的読みやすいものだったが、正答するためにかなり深い理解を要する設問が多いため、長文学習では正しく訳せたということだけで満足せず、各パラグラフの役割、筆者の主張、全体の主旨を掴みながら読むことのできる真の読解力を目指して欲しい。 【合格のための戦略・時間配分の目安】READING I, II では、慌てずに60分程度を費やし7割以上の得点を目指す。III～VIIは手早く処理することを優先して最大15分。自由英作文に15分弱残す。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	長文読解問題	昨年度のIと比べると読みやすい文章であった。読みやすいだけでなく、「発明の天才・エジソン」というのは、実は巧妙に作られたパブリックイメージで、実際にはチームの中で「仲介人」「調停役」のような役割だった、という非常に興味深い内容でもあった。本文の内容と <u>一致しない</u> 選択肢を4つ選ぶ設問では、判断に迷うものや内容の細部を問うものがあるため、本文の該当箇所と照合しながら読み進め、最後に微妙な選択肢をさらに比較検討して正答を絞り込んでいくという必要があるようだ。	標準
II	長文読解問題	IIの長文は、アメリカの「大量離職時代」がテーマで、Iと比較するとやや抽象的な内容で読みにくい箇所が多かったかもしれない。IIの内容真偽問題は、Iとは逆で本文の内容と <u>一致する</u> ものを4つ選ぶため混乱しやすい。「一致するもの」「一致しないもの」という指示を見落とすと、合否を左右するレベルの大失点につながるので気をつけてもらいたい。空所補充問題も、5つの選択肢から最も <u>ふさわしくない</u> ものを選ぶもので、他大学ではほぼ見られない形式であるため勘違いする恐れがある。どんなに急いでいても、しっかりと指示文を確認するという基本中の基本をここで改めて肝に銘じたい。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅲ	空所補充問題	get の後ろに前置詞・副詞を入れ熟語を完成させる問題。昨年と形式は同じだが、やや難化した。get across to と get through to、get along と get by のそれぞれの区別は、表面的な意味を覚えているだけでは難しかっただろう。ここでの get behind も受験生が一般的に覚えている意味ではないので、自信を持って選択した受験生は少なかったと思われる。いずれにしても、長考したからといって正答が導き出せる問題ではないので、素早く処理したい。	やや難
Ⅳ	空所補充問題	図表と150語程度の文章を用いた空所補充問題。新しい出題形式ではあるが、入試問題としては目新しいものではないので戸惑うこともなかったはず。紛らわしい選択肢もないので、すばやい解答と全問正解が望まれる。	やや易
Ⅴ	正誤判定問題	昨年度と同じ4問。正誤問題は「誤りなし(E)」があるとどうしても難度は高くなる。「誤りがないかも」と思ってしまうと、簡単なものでも見落としてしまうからだ。よって、原則的には「絶対に誤りはある」という心づもりで取り組まないといけない。ただし、悩み始めると際限なく時間を浪費してしまうタイプの設問なので、一読で見つけられるように訓練を重ねて欲しい。	標準
Ⅵ	空所補充問題	ウェブページを用いた空所補充問題。Ⅳと同様、新しい出題形式だが、昨今ではそれほど珍しい形式というわけではないので、慣れていた受験生も多かったかもしれない。問われているポイントも標準的なもの。	標準
Ⅶ	条件英作文	メールでレストランの予約をするという設定の条件英作文。WRITING SECTION で、昨年度の整序英作文に代わっての出題である。日付の書き方、「車椅子」の表現がポイントになる。	標準
Ⅷ	自由英作文問題	近年同様、絵が与えられている。今年度は「卵を運んでいる女性と、人間の赤ちゃんを運んでいる鶏」が描かれたイラストであった。その絵の message をどのように解釈しても特に問題はない。message の内容にこだわりすぎないで、英文としての完成度を上げることに腐心すべきだろう。一貫性のある内容、正しい文構造、適切なレベルの語彙で書くことが大切になってくる。これは一朝一夕にできることではない。本腰を入れて英作文対策を早く始めることが、本番で大きな差を生んだはずだ。	やや難